

Taux de roucouvremment de vente au volume:
従量制水料金徴収率

Dawadi BPF : Tambacounda 05.2005	(A) Prix de l'eau	(B) Consom. totale	Payés		Impayés		Taux de recouvremment (C)/(B) %
	F.cfa/m ³		(C) consom. m ³	(D) montant F.cfa	(E) consom. m ³	(F) montant F.cfa	
(1) BFP	200	0	0	0	0	0	#DIV/0!
(2) BRP	400	0	0	0	0	0	-
(3) STC	400	0	0	0	0	0	-
(4) ABV	400	0	0	0	0	0	-
(5) MAR	200	0	0	0	0	0	-
(6) Autre		0	0	0	0	0	-
(7) Total	-	0	0	0	0	0	#DIV/0!
(8) Volume pompé		0	Note				
(9) Taux de recouvremment dépasse (7)/(8)		#DIV/0!	現在、揚水量及び施設別水消費量を確認中				

Dawadi BPF : Tambacounda 06.2005	(A) Prix de l'eau	(B) Consom. totale	Payés		Impayés		Taux de recouvremment (C)/(B) %
	F.cfa/m ³		(C) consom. m ³	(D) montant F.cfa	(E) consom. m ³	(F) montant F.cfa	
(1) BFP	200	1,875	1,875.25	375,050	0	0	100.0%
(2) BRP	400	0	0	0	0	0	-
(3) STC	400	0	0	0	0	0	-
(4) ABV	400	0	0	750,000	0	0	-
(5) MAR	200	0	0	0	0	0	-
(6) Autre		0	0	0	0	0	-
(7) Total	-	1,875	1,875	1,125,050	0	0	100.0%
(8) Volume pompé		2,089	Note				
(9) Taux de recouvremment dépasse (7)/(8)		89.8%					

Dawadi BPF : Tambacounda 07.2005	(A) Prix de l'eau	(B) Consom. totale	Payés		Impayés		Taux de recouvremment (C)/(B) %
	F.cfa/m ³		(C) consom. m ³	(D) montant F.cfa	(E) consom. m ³	(F) montant F.cfa	
(1) BFP	200	707	707	141,435	0	0	100.0%
(2) BRP	400	0	0	0	0	0	-
(3) STC	400	0	0	0	0	0	-
(4) ABV	400	0	0	0	0	0	-
(5) MAR	200	0	0	0	0	0	-
(6) Autre		0	0	0	0	0	-
(7) Total	-	707	707	141,435	0	0	100.0%
(8) Volume pompé		878	Note				
(9) Taux de recouvremment dépasse (7)/(8)		80.5%					

Dawadi BPF : Tambacounda 08.2005	(A) Prix de l'eau	(B) Consom. totale	Payés		Impayés		Taux de recouvremment (C)/(B) %
	F.cfa/m ³		(C) consom. m ³	(D) montant F.cfa	(E) consom. m ³	(F) montant F.cfa	
(1) BFP	200	402.2	402.2	80,440	0	0	100.0%
(2) BRP	200	0	0	0	0	0	-
(3) STC	200	0	0	0	0	0	-
(4) ABV	400	0	0	0	0	0	-
(5) MAR	200	0	0	0	0	0	-
(6) Autre		0	0	0	0	0	-
(7) Total (sauf (1))	-	402	402	80,440	0	0	100.0%
(8) Volume pompé		736	Note				
(9) Taux de recouvremment dépasse (7)/(8)		54.6%					

3-10 サイト別給水施設停止日数

給水施設停止日数

Date 2005年10月

ASUFOR前			
日付	日数	給水停止理由	
不明			
ASUFOR前 給水停止日数		不明	

ASUFOR後			
日付	日数	給水停止理由	
なし	0		
ASUFOR後 給水停止日数		0	

ASUFOR前			
日付	日数	給水停止理由	
2001 3月15日	1	エンジン部品交換	
2001 11月10日	6	ポンプ交換	
2003 7月12日	1	燃料フィーダー交換	
ASUFOR前 給水停止日数		8	

ASUFOR後			
日付	日数	給水停止理由	
2004 9月30日	1	オイルフィルター交換	
2004 11月10日	3	ジョイント部品交換	
2004 11月28日	12	エンジン交換	
2005 4月14日	1		
ASUFOR後 給水停止日数		17	

ASUFOR前			
日付	日数	給水停止理由	
不明			
ASUFOR前 給水停止日数		不明	

ASUFOR後			
日付	日数	給水停止理由	
2004 6月9日	4	オイルフィルター交換	
ASUFOR後 給水停止日数		4	

ASUFOR前			
日付	日数	給水停止理由	
不明			
ASUFOR前 給水停止日数		不明	

ASUFOR後			
日付	日数	給水停止理由	
2004 6月4日	1	ポンプ部品交換	
2004 12月26日	2	水槽タップ修理	
ASUFOR後 給水停止日数		3	

ASUFOR前			
日付	日数	給水停止理由	
不明			
ASUFOR前 給水停止日数		不明	

ASUFOR後			
日付	日数	給水停止理由	
なし	0		
ASUFOR後 給水停止日数		0	

ASUFOR前			
日付	日数	給水停止理由	
不明			
ASUFOR前 給水停止日数		不明	

ASUFOR後			
日付	日数	給水停止理由	
なし	0		
ASUFOR後 給水停止日数		0	

ASUFOR前			
日付	日数	給水停止理由	
2001 3月21日	2	発電機部品交換	
2001 9月3日	2	スターター不良	
2002 12月24日	1	モーター部品交換	
2002 3月12日	1	オイルインジェクションポンプ	
2002 12月16日	1	クーリングパイプ交換	
ASUFOR前 給水停止日数		7	

ASUFOR後			
日付	日数	給水停止理由	
なし	0	バルブ修理(未停止)	
ASUFOR後 給水停止日数		0	

ASUFOR前			
日付	日数	給水停止理由	
2001 11月30日	1	住民トラブルによる停止	
2004 12月27日	1	スターター不良	
2004 6月24日	1	オートストップ部品交換	
2005 6月25日	1	制御盤・電気系統修理	
ASUFOR前 給水停止日数		4	

ASUFOR後			
日付	日数	給水停止理由	
なし			
ASUFOR後 給水停止日数		0	

ASUFOR前			
日付	日数	給水停止理由	
2001 4月17日	1	オイルポンプ交換	
2001 10月19日	1	オイルポンプ修理	
ASUFOR前 給水停止日数		2	

ASUFOR後			
日付	日数	給水停止理由	
2005 2月1日	0	ポンプ接続修理(未停止)	
ASUFOR後 給水停止日数		0	

ASUFOR前			
日付		日数	給水停止理由
不明			
ASUFOR前 給水停止日数		不明	

ASUFOR後			
日付		日数	給水停止理由
なし			
ASUFOR後 給水停止日数		0	

ASUFOR前			
日付		日数	給水停止理由
2001	3月8日	3月9日	2 バルブ交換
2001	4月15日	4月25日	11 エンジン修理
2001	9月28日	9月30日	3 ?
2002	1月3日	1月7日	5 ポンプ修理
2003	10月5日	10月5日	1 燃料漏れ
2004	2月20日	2月24日	5 ポンプ部品交換
2004	4月9日	4月12日	4 ポンプ部品交換
ASUFOR前 給水停止日数		31	

ASUFOR後			
日付		日数	給水停止理由
2004	11月29日	12月4日	5 発電機交換
ASUFOR後 給水停止日数		5	

ASUFOR前			
日付		日数	給水停止理由
2004	1月24日	2月10日	18 燃料タンク修理
2004	5月24日		1 電気系統修理
ASUFOR前 給水停止日数		19	

ASUFOR後			
日付		日数	給水停止理由
なし			
ASUFOR後 給水停止日数		0	

ASUFOR前			
日付		日数	給水停止理由
不明			
ASUFOR前 給水停止日数		不明	

ASUFOR後			
日付		日数	給水停止理由
2005	5月2日	5月4日	3 ダイオード交換
ASUFOR後 給水停止日数		3	

ASUFOR前			
日付		日数	給水停止理由
不明			
ASUFOR前 給水停止日数		不明	

ASUFOR後			
日付		日数	給水停止理由
2005	3月		1 スターター交換
ASUFOR後 給水停止日数		1	

ASUFOR前			
日付		日数	給水停止理由
2002	6月12日	6月18日	7 バルブ交換
2003	5月20日	5月23日	4 制御盤交換
2004	2月27日	3月3日	6 ポンプ修理
ASUFOR前 給水停止日数		17	

ASUFOR後			
日付		日数	給水停止理由
2005	1月3日	1月7日	5 ポンプ修理
2005	3月		2 発電機修理
2005	9月		3 発電機修理
ASUFOR後 給水停止日数		10	

ASUFOR前			
日付		日数	給水停止理由
2001	11月7日	11月18日	9 発電機交換
ASUFOR前 給水停止日数		9	

ASUFOR後			
日付		日数	給水停止理由
なし			
ASUFOR後 給水停止日数		0	

ASUFOR前			
日付		日数	給水停止理由
不明			
ASUFOR前 給水停止日数		不明	

ASUFOR後			
日付		日数	給水停止理由
2005	6月9日	6月14日	6 配管部品交換
ASUFOR後 給水停止日数		6	

ASUFOR前			
日付		日数	給水停止理由
2002	11月18日	11月20日	3 電気系統修理
2003	7月30日	8月3日	5 電気系統修理
2004	4月7日	4月25日	18 ポンプ交換
ASUFOR前 給水停止日数		26	

ASUFOR後			
日付		日数	給水停止理由
なし			
ASUFOR後 給水停止日数		0	

DK	ASUFOR前			
	日付		日数	給水停止理由
		不明		
ASUFOR前 給水停止日数		不明		

ASUFOR後			
日付		日数	給水停止理由
2005	5月22日	5月24日	3 発電機修理
2005	9月		1
ASUFOR後 給水停止日数		3	

GB	ASUFOR前			
	日付		日数	給水停止理由
		不明		
ASUFOR前 給水停止日数		不明		

ASUFOR後			
日付		日数	給水停止理由
	なし		
ASUFOR後 給水停止日数		0	

MD	ASUFOR前			
	日付		日数	給水停止理由
	2001	11月6日	11月28日	23 ポンプ修理
	ASUFOR前 給水停止日数		23	

ASUFOR後			
日付		日数	給水停止理由
2005	5月2日	5月5日	4 スターター修理(未停止)
2005	7月6日	7月15日	10 遮断機交換
2005	9月		4 電気系統修理
ASUFOR後 給水停止日数		18	

DSII	ASUFOR前			
	日付		日数	給水停止理由
	2001	10月8日	11月14日	13 発電機修理
	2002	2月1日	2月19日	19 揚水管・ポンプ修理
	2003	1月9日	2月11日	33 発電機エンジン交換
ASUFOR前 給水停止日数		65		

ASUFOR後			
日付		日数	給水停止理由
2005	2月		1 ジョイント交換
ASUFOR後 給水停止日数		1	

DD	ASUFOR前			
	日付		日数	給水停止理由
	2001	11月26日	11月27日	3 電気回路部品交換
	2001	7月12日	8月4日	16 ポンプ交換
	2003	8月19日	8月24日	6 電気系統修理
ASUFOR前 給水停止日数		25		

ASUFOR後			
日付		日数	給水停止理由
2005	8月4日	8月9日	6 導水管修理
2005	10月		1 電気系統修理
ASUFOR後 給水停止日数		7	

DW	ASUFOR前			
	日付		日数	給水停止理由
		不明		
ASUFOR前 給水停止日数		不明		

ASUFOR後			
日付		日数	給水停止理由
2005	8月8日	8月10日	3 スターター修理(未停止)
2005	10月16日		0 スターター修理(未停止)
ASUFOR後 給水停止日数		3	


3-11 ASUFOR 活動確認調査結果

ASUFOR 活動現状確認調査


各対象サイトの ASUFOR 活動状況を確認するとともに、下記資料を 1 セットにしたモニタリング用キットを使用して、ASUFOR 役員及び施設オペレーターに対しモニタリングシートへの記載方法を再度説明し、管轄維持管理センター長への提出を依頼した。

- > モニタリングシート提出日・提出手順 (ASUFOR→BPF→DEM) 資料【資料1】
- > モニタリングシート (下記3種とも ASUFOR 保管用・BPF 提出用、各 12 か月分)
 - ① ASUFOR 活動モニタリングシート【資料2】
 - ② ASUFOR 会合記録 (ジェンダー別出席表)【資料3】
 - ③ ポンプ揚水量等報業【資料4】
- > 水利用ガイドライン (A3 ラミネート加工)
- > DEM/ASUFOR/民間業者役割分担資料 (A4 ラミネート加工)


Moukh-Moukh

調査日：2005年5月2日 11:30		ASUFOR プレジデントとの協議 (2005/05/02)
調査者：石井・翠川・DEM Niang・BPF Sumb		
関わり：ASUFOR プレジデント・書記		
■ 会合開催状況： 毎定期開催。議事録及び出席者リストも記録されている。		
> 事務局会議：毎月 10 日 (理事会会議の前に行う)		
> 理事会会議：毎月 10 日		
来月 (2005年6月) も予定通り 6月 10日 (土) に開催予定。		
6月下旬のサイト視察対応準備について ASUFOR 理事会にかけ協議すること。		
■ 積立金状況： 現在の積立金 1,730,450 CFA (2005年4月 10日) ← 500,000 CFA (2004年 12月) ASUFOR 月平均収入は約 300,000 CFA		
■ 懸案事項： < サイト視察 (6月 28・29日) について > ムックムックを対象としたサイト視察を 6月 28・29日に行いたい旨説明し、ASUFOR 側から了解を得た。具体的なプログラムが出来た段階で改めて準備を依頼すること、ムックムック側でサイト視察準備に掛かる必要費用 (昼食費用等) についてはプロジェクト側で対応することを伝えた。		

Touba Linguere

調査日：2005年5月2日 11:14:30		ASUFOR 事務局との協議 (2005/05/02)
調査者：石井・翠川・DEM Niang・BPF Sumb・BPF Mbow		
関わり：ASUFOR プレジデント・副プレジデント・書記		
■ 会合開催状況： 2004年 12月の調査時に会合の定期開催を指導したところ、2005年 1月より下記のように毎月会合が開かれている。但し、議事録についてはまだ適正に作られていないため再度指導した。		
> 事務局会議：毎月 1日		
> 理事会会議：毎月 5日		
■ 積立金状況： 現在の積立金 926,710 CFA (2005年 4月) ← 572,2330 CFA (2004年 12月) 現きの過程で旧会計から ASUFOR へ預金の一部が移管されていることが判明し、早急に移管するように指導した。(BPF の Mbow にフォローを依頼した)		
■ 懸案事項： ASUFOR がマラボの指示に頼る傾向 (M.Mbow) が顕著に見られる。これはマラボが住民へ悪影響を及ぼしているというのではなく、ASUFOR が組織として未成熟で、住民意見の統一や意思決定が出来ないため、この点にある。但し、マラボからの水料金が未納になっている (ASUFOR 側が請求を遺慮している) ため、この点については、マラボへ「水料金は例外なく支払うべきこと」を別途説明するよう Mbow へ依頼した。		
また、プレジデントは、住民が水料金を払いたがらないこと、ボタンスのメータが故障したこと等、ASUFOR 運営を切盛り出来ない状況を説明していたが、CP (M.Stumb) から、その原因は事務局メンバーが積極的に機能していないことにあると、ASUFOR 側をやり取りする場面もあった。5月中旬にサイトを再訪問し、諸問題をフォローするよう M.Mbow へ依頼した。		

Nguith

調査日：2005年5月2日 17:30		ASUFOR 事務局との協議 (2005/05/03)
調査者：石井・翠川・DEM Niang・BPF Sumb・BPF Mbow		
関わり：ASUFOR 副プレジデント・会計		
■ 会合開催状況： 事務局会議は毎月開催しているが、理事会会議は半年毎のことであった。理事会会議の開催頻度が少ないため、同日開催を提案し、下記の日程が ASUFOR 側に了解された。		
> 事務局会議：毎月第 1 日曜 (理事会会議の前に行う)		
> 理事会会議：毎月第 1 日曜		
■ 積立金状況： 現在の積立金 851,750 CFA (2005年 4月) ← 1,367,300 CFA (2004年 12月) 給水施設の電化工事を行い SENELEC からの通電が 10日前 (4月 22日) から始まったが、そのための準備に ASUFOR から支出し、積立金が減少した。受電盤 (セカンドハンド) やパイプ類等を購入したとのことである。(電線引き込みについては DEM 予算で行われた)		
■ 懸案事項： 事務局員への報酬や水売り人 (公共水栓・アブルボラ・ボタンス) への報酬が高い (売上高の 10%) 反面、水料金の設定が低い (150 CFA/m ³) ことが、積立金が少なくなることの一因になっていることから、ASUFOR 役員はボランタリーが望ましいこと、報酬を設定する場合は内部規定に従うべきであることを説明し、水料金の改定と報酬の再検討を ASUFOR 側へ依頼。これに関する住民総会に関する日程の連絡を待つこととなった。		

Mbayène Thiasdè

調査日：2005年5月3日 9:45
 調査者：石井・翠川・DEM Niang・BPF Mbow
 開取り：ASUFOR プレジデント・会計・書記・オベレレータ

■ 会合開催状況：
 事務局会議：理事会会合にも定期開催の日程はフィックスされていなかったが、下記のように決定された。
 > 事務局会議：毎月5日（日曜の場合）は翌日に延期
 > 理事会会議：毎月5日（再度要確認）

■ 積立金状況：
 現在の積立金 1,255,925 CFA (2005年4月) ← 967,650 CFA (2004年12月)

■ 懸案事項：
 < アブルボアからの水料金の徴収 >
 各事務局員はそれぞれ役割に対して対峙しており、現在のとこ ASUFOR には組織として大きな問題は表面に出てきていない。プロジェクト側から指摘する前に ASUFOR 側から、アブルボアに来る正確な家数データを把握できず、遊牧民は従量制を受けつけないが、アブルボアの料金徴収をどうすべきか、との前向きな質問があった。2005年2月の収支とアブルボア水消費量を比較すると、概算で月収入の約20%の誤差があり、大きなロスとなっている。ムックムックの事例を紹介し、一時的にアブルボアの使用を停止し、水販売は従量制を受け入れる遊牧民のみとする方法もあることを説明したが、ASUFOR のプレジデントより、チャヤデス周辺の遊牧民との関係を悪化させる可能性のある方法は避けたいとのことであった。

調査日：2005年5月3日 13:30
 調査者：石井・翠川・DEM Niang・BPF Mbow
 開取り：副プレジデント・会計・書記・オベレレータ、村民約30名

■ 会合開催状況：
 下記の日程で毎月定期的に開催している。但し書記が記載できる言語はブラのみで、議事録・モニタリングシートは適正に記録されていない。モニタリングシートの記載内容についてCPが1項目づつ再度指導した。
 > 事務局会議：毎月5日
 > 理事会会議：毎月10日

■ 積立金状況：
 現在の積立金 1,231,300 CFA (2005年3月) ← 530,000 CFA (2004年12月) 但し、銀行口座が開設されていないことが判明。

■ 懸案事項：
 < 事務局員の欠員 >
 ASUFOR のプレジデントがダカールへ出張のため出身移住し、会計を含む3名の事務局員も同様にダカールへ出張に出ており、9名中4名が事務局員を退いていた。第1副プレジデント(18歳の女性)がプレジデントを代行し、副会計が会計業務を行っている。早急に住民総会を開催して欠員となった事務局員を補出するよう説明し、ASUFOR 側はこれを受け、住民総会の日程についてはスロープアプリアフェの出席可能な日程を ASUFOR が調整することになった。

Mbayène Nègué

調査日：2005年5月3日 17:30
 調査者：石井・翠川・DEM Niang・BPF Mbow
 開取り：ASUFOR プレジデント・会計・副書記・オベレレータ

■ 会合開催状況：
 事務局会議は2005年3月に1回開催したのみで定期的に開催されていない(前々回は2004年12月)。理事会会議については、住民のほとんどが遊牧民で乾期に村を離れるため、乾期は開催されていなかった。プロジェクトからの提案で下記の日程での事務局会議の定期開催が合意されたがオモオオが必要と思われる。書記が本村在住でないため会議に出席せず議事録は作成されていない。

> 事務局会議：毎月5日
 > 理事会会議：遊牧民が多数のため乾期開催は実質的に困難

■ 積立金状況：
 2005年3月時点での積立金は650,000 CFA で、4月分は現在集金途中である。

■ 懸案事項：
 < プランテーションへの給水 >
 サウジのプロジェクト(ゴムのプランテーション)から ASUFOR へ給水の依頼があり、PCR の指導も受けたため、配管延長(工事実施はサウジが実施)を行い、現在給水(水道料金は定額 81,000 CFA/月)しているが水道メーターが設置されていない。給水は2005年2月頃から開始されているがBPFは本件について知られていない。配管の延長距離や工事時期等について ASUFOR に確認したが不明。配管延長などの給水施設関連事項はBPFへ通知し技術的な確認を受けること、全ての給水先へは水道メーターを設置するのが原則であるため、PCR に面して状況説明を受けるとともに、メーター設置の指導を行うよう依頼した。

< 書記の選出 >
 書記が本村在住でないため会議に出席せず議事録は作成されておらず、ASUFOR 活動への責任ある参加が期待できない状況である。責任の果せる新たな書記の選出を打診したところ Mbow も同意見であり、ASUFOR 側も了承。また、副書記は文字の読み書きが不能であるため、新たに書記が選出されるまでモニタリングシートの記載は、オベレレータに依頼し、記載方法を指導を行った。事務局会議で書記選出のための住民総会の日程をとり決める予定である。

調査日：2005年5月3日 17:30
 調査者：石井・翠川・DEM Niang・BPF Mbow
 開取り：ASUFOR プレジデント・会計・副書記・オベレレータ

■ 会合開催状況：
 事務局会議は2005年3月に1回開催したのみで定期的に開催されていない(前々回は2004年12月)。理事会会議については、住民のほとんどが遊牧民で乾期に村を離れるため、乾期は開催されていなかった。プロジェクトからの提案で下記の日程での事務局会議の定期開催が合意されたがオモオオが必要と思われる。書記が本村在住でないため会議に出席せず議事録は作成されていない。

> 事務局会議：毎月5日
 > 理事会会議：遊牧民が多数のため乾期開催は実質的に困難

■ 積立金状況：
 2005年3月時点での積立金は650,000 CFA で、4月分は現在集金途中である。

■ 懸案事項：
 < プランテーションへの給水 >
 サウジのプロジェクト(ゴムのプランテーション)から ASUFOR へ給水の依頼があり、PCR の指導も受けたため、配管延長(工事実施はサウジが実施)を行い、現在給水(水道料金は定額 81,000 CFA/月)しているが水道メーターが設置されていない。給水は2005年2月頃から開始されているがBPFは本件について知られていない。配管の延長距離や工事時期等について ASUFOR に確認したが不明。配管延長などの給水施設関連事項はBPFへ通知し技術的な確認を受けること、全ての給水先へは水道メーターを設置するのが原則であるため、PCR に面して状況説明を受けるとともに、メーター設置の指導を行うよう依頼した。

< 書記の選出 >
 書記が本村在住でないため会議に出席せず議事録は作成されておらず、ASUFOR 活動への責任ある参加が期待できない状況である。責任の果せる新たな書記の選出を打診したところ Mbow も同意見であり、ASUFOR 側も了承。また、副書記は文字の読み書きが不能であるため、新たに書記が選出されるまでモニタリングシートの記載は、オベレレータに依頼し、記載方法を指導を行った。事務局会議で書記選出のための住民総会の日程をとり決める予定である。

Wendou Loumbel

調査日：2005年5月3日 17:30
 調査者：石井・翠川・DEM Niang・BPF Mbow
 開取り：ASUFOR プレジデント・会計・副書記・オベレレータ

■ 会合開催状況：
 事務局会議は2005年3月に1回開催したのみで定期的に開催されていない(前々回は2004年12月)。理事会会議については、住民のほとんどが遊牧民で乾期に村を離れるため、乾期は開催されていなかった。プロジェクトからの提案で下記の日程での事務局会議の定期開催が合意されたがオモオオが必要と思われる。書記が本村在住でないため会議に出席せず議事録は作成されていない。

> 事務局会議：毎月5日
 > 理事会会議：遊牧民が多数のため乾期開催は実質的に困難

■ 積立金状況：
 2005年3月時点での積立金は650,000 CFA で、4月分は現在集金途中である。

■ 懸案事項：
 < プランテーションへの給水 >
 サウジのプロジェクト(ゴムのプランテーション)から ASUFOR へ給水の依頼があり、PCR の指導も受けたため、配管延長(工事実施はサウジが実施)を行い、現在給水(水道料金は定額 81,000 CFA/月)しているが水道メーターが設置されていない。給水は2005年2月頃から開始されているがBPFは本件について知られていない。配管の延長距離や工事時期等について ASUFOR に確認したが不明。配管延長などの給水施設関連事項はBPFへ通知し技術的な確認を受けること、全ての給水先へは水道メーターを設置するのが原則であるため、PCR に面して状況説明を受けるとともに、メーター設置の指導を行うよう依頼した。

< 書記の選出 >
 書記が本村在住でないため会議に出席せず議事録は作成されておらず、ASUFOR 活動への責任ある参加が期待できない状況である。責任の果せる新たな書記の選出を打診したところ Mbow も同意見であり、ASUFOR 側も了承。また、副書記は文字の読み書きが不能であるため、新たに書記が選出されるまでモニタリングシートの記載は、オベレレータに依頼し、記載方法を指導を行った。事務局会議で書記選出のための住民総会の日程をとり決める予定である。

調査日：2005年5月3日 17:30
 調査者：石井・翠川・DEM Niang・BPF Mbow
 開取り：ASUFOR プレジデント・会計・副書記・オベレレータ

■ 会合開催状況：
 事務局会議は2005年3月に1回開催したのみで定期的に開催されていない(前々回は2004年12月)。理事会会議については、住民のほとんどが遊牧民で乾期に村を離れるため、乾期は開催されていなかった。プロジェクトからの提案で下記の日程での事務局会議の定期開催が合意されたがオモオオが必要と思われる。書記が本村在住でないため会議に出席せず議事録は作成されていない。

> 事務局会議：毎月5日
 > 理事会会議：遊牧民が多数のため乾期開催は実質的に困難

■ 積立金状況：
 2005年3月時点での積立金は650,000 CFA で、4月分は現在集金途中である。

■ 懸案事項：
 < プランテーションへの給水 >
 サウジのプロジェクト(ゴムのプランテーション)から ASUFOR へ給水の依頼があり、PCR の指導も受けたため、配管延長(工事実施はサウジが実施)を行い、現在給水(水道料金は定額 81,000 CFA/月)しているが水道メーターが設置されていない。給水は2005年2月頃から開始されているがBPFは本件について知られていない。配管の延長距離や工事時期等について ASUFOR に確認したが不明。配管延長などの給水施設関連事項はBPFへ通知し技術的な確認を受けること、全ての給水先へは水道メーターを設置するのが原則であるため、PCR に面して状況説明を受けるとともに、メーター設置の指導を行うよう依頼した。

< 書記の選出 >
 書記が本村在住でないため会議に出席せず議事録は作成されておらず、ASUFOR 活動への責任ある参加が期待できない状況である。責任の果せる新たな書記の選出を打診したところ Mbow も同意見であり、ASUFOR 側も了承。また、副書記は文字の読み書きが不能であるため、新たに書記が選出されるまでモニタリングシートの記載は、オベレレータに依頼し、記載方法を指導を行った。事務局会議で書記選出のための住民総会の日程をとり決める予定である。

Mbayène Nègué

調査日：2005年5月3日 17:30
 調査者：石井・翠川・DEM Niang・BPF Mbow
 開取り：ASUFOR プレジデント・会計・副書記・オベレレータ

■ 会合開催状況：
 事務局会議は2005年3月に1回開催したのみで定期的に開催されていない(前々回は2004年12月)。理事会会議については、住民のほとんどが遊牧民で乾期に村を離れるため、乾期は開催されていなかった。プロジェクトからの提案で下記の日程での事務局会議の定期開催が合意されたがオモオオが必要と思われる。書記が本村在住でないため会議に出席せず議事録は作成されていない。

> 事務局会議：毎月5日
 > 理事会会議：遊牧民が多数のため乾期開催は実質的に困難

■ 積立金状況：
 2005年3月時点での積立金は650,000 CFA で、4月分は現在集金途中である。

■ 懸案事項：
 < プランテーションへの給水 >
 サウジのプロジェクト(ゴムのプランテーション)から ASUFOR へ給水の依頼があり、PCR の指導も受けたため、配管延長(工事実施はサウジが実施)を行い、現在給水(水道料金は定額 81,000 CFA/月)しているが水道メーターが設置されていない。給水は2005年2月頃から開始されているがBPFは本件について知られていない。配管の延長距離や工事時期等について ASUFOR に確認したが不明。配管延長などの給水施設関連事項はBPFへ通知し技術的な確認を受けること、全ての給水先へは水道メーターを設置するのが原則であるため、PCR に面して状況説明を受けるとともに、メーター設置の指導を行うよう依頼した。

< 書記の選出 >
 書記が本村在住でないため会議に出席せず議事録は作成されておらず、ASUFOR 活動への責任ある参加が期待できない状況である。責任の果せる新たな書記の選出を打診したところ Mbow も同意見であり、ASUFOR 側も了承。また、副書記は文字の読み書きが不能であるため、新たに書記が選出されるまでモニタリングシートの記載は、オベレレータに依頼し、記載方法を指導を行った。事務局会議で書記選出のための住民総会の日程をとり決める予定である。

調査日：2005年5月3日 17:30
 調査者：石井・翠川・DEM Niang・BPF Mbow
 開取り：ASUFOR プレジデント・会計・副書記・オベレレータ

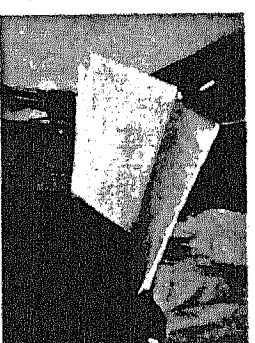
■ 会合開催状況：
 事務局会議は2005年3月に1回開催したのみで定期的に開催されていない(前々回は2004年12月)。理事会会議については、住民のほとんどが遊牧民で乾期に村を離れるため、乾期は開催されていなかった。プロジェクトからの提案で下記の日程での事務局会議の定期開催が合意されたがオモオオが必要と思われる。書記が本村在住でないため会議に出席せず議事録は作成されていない。

> 事務局会議：毎月5日
 > 理事会会議：遊牧民が多数のため乾期開催は実質的に困難

■ 積立金状況：
 2005年3月時点での積立金は650,000 CFA で、4月分は現在集金途中である。

■ 懸案事項：
 < プランテーションへの給水 >
 サウジのプロジェクト(ゴムのプランテーション)から ASUFOR へ給水の依頼があり、PCR の指導も受けたため、配管延長(工事実施はサウジが実施)を行い、現在給水(水道料金は定額 81,000 CFA/月)しているが水道メーターが設置されていない。給水は2005年2月頃から開始されているがBPFは本件について知られていない。配管の延長距離や工事時期等について ASUFOR に確認したが不明。配管延長などの給水施設関連事項はBPFへ通知し技術的な確認を受けること、全ての給水先へは水道メーターを設置するのが原則であるため、PCR に面して状況説明を受けるとともに、メーター設置の指導を行うよう依頼した。

< 書記の選出 >
 書記が本村在住でないため会議に出席せず議事録は作成されておらず、ASUFOR 活動への責任ある参加が期待できない状況である。責任の果せる新たな書記の選出を打診したところ Mbow も同意見であり、ASUFOR 側も了承。また、副書記は文字の読み書きが不能であるため、新たに書記が選出されるまでモニタリングシートの記載は、オベレレータに依頼し、記載方法を指導を行った。事務局会議で書記選出のための住民総会の日程をとり決める予定である。



オベレレータが記載する給水施設関係記録の
 記録状況の確認 (2005/05/03)

Ndatt Belakho

調査日: 2005年5月4日 11:10

調査者: 石井・翠川・DEM Niang・BPF Samb

開取: オペレータ

■ 合開催状況:

事務局長会議及び理事会ともに月1回定期的に開催している。

議事録は作成されていない。

事務局長会議: 毎月5日

(マーケットのある場合は翌日以降に延期)

理事会会議: 同上

■ 積立金状況:

プレジデント及び会計を急ぐASUFOR事務局長が皆不在でオペレータから聞き取りを行った。積立金の状況に付いては後日Sambが再度サイトを訪問して確認する予定。

■ 懸案事項:

オペレータからの聞き取りでは、理事会メンバーが死亡し、CD1名欠員がでている以外に、事務局・理事会のメンバーに変更は出していない。識字の問題からオペレータから多くの運営業務を担っていること、他の事務局長との役割分担が必要と思われる。オペレータからその他問題の指摘はなかったが、銀行開設が未だなされていないことが判明。これは近郊にはタックスの大きい銀行がなく、他の銀行を探していたため口徑開設が遅れたとのことである。近日中にASUFORの事務局長に面談して現状について聞き取りを行い、早期に口徑開設の指導し、その結果をプロジェクトへ報告するようM.Sambに依頼した。



オペレータへの説明 (2005/05/02)

Gaodi Gotti

調査日: 2005年5月5日 10:30

調査者: 石井・翠川・DEM Niang・BPF Seye

開取: プレジデント・監査・オペレータ・その他住民約20名

■ 合開催状況:

事務局長会議及び理事会とも開催されていた。

プレジデントによる「会議を開催しよう」と何回も取り決めた。

が、その度にコントロールパネルが故障(電気系統)したため、何

回も延期してしまっ」というのがその理由であった。またBPF

(維持管理センター)に連絡したか、との問いには「連絡しても来

ないので連絡していない」とのことであった。

プロジェクト側から施設の故障は会議延期の理由にならないこと、むしろ故障への対処法を住民間で協議するためにも会議を行うべきであることをASUFOR側へ説明し、協議の結果以下のようになり、期合合を行うこととなった。

事務局長会議: 毎月5日

(マーケット等のある場合は翌日以降に延期)

理事会会議: 毎月10日(同上)

なお5月10日に開催予定の理事会にBPFのM.Seyeの出席

を依頼した。

■ 積立金状況:

会計が不在の為確認できなかった。Seyeに後日確認し、連絡するように依頼した。なお、コントロールパネルを何回も修理して2millionほどASUFORが支出したことで、CPが、BPFに連絡して適正な修理を行えば無駄な支出とならないことを再度説明。

■ 懸案事項:

前回(昨年12月)サイトを訪れた際、未だ従量制に移行できていなかったため、その必要性を説明して住民側も合意していたが、結局従量制は徹底されなかった。従量制実施のフォローについては前回は前々回のサイト訪問に同行したNdium BPF: 維持管理センター長のM.Toureに再訪問してモニタリングを実施するよう繰り返して依頼していたが、1度も訪問しておらず、適切な指導がなされていなかった。

プレジデントから、雨期が近いので従量制の開始は雨期明け後からにしてほしい、とのコメント(このコメントは昨年と同様)があった。再度、従量制の利点と必要性を説明し、出席していた住民間で協議の結果、従量制を6月1日から開始することとなった。

5月10日にBPF出席の下で理事会を開催し、6月1日より従量制を開始することを改めて住民に確認し、5月中に従量制開始に必要な準備(メーター読み、料金徴収方法などの確認)を全て終えるよう指示した。

BPFのM.Seyeには5月中旬に3回サイトを訪問し、従量制開始までの準備を確認し報告するよう依頼した。



協議風景 (2005/05/05)



ASUFOR事務局への説明 (2005/05/05)

Bakhaya

調査日: 2005年5月4日 12:50

調査者: 石井・翠川・DEM Niang・BPF Samb

開取: プレジデント・会計・書記・オペレータ・CD4名

■ 合開催状況:

事務局長会議は毎月10日に定期開催しているが、理事会会議は開催

してなかった。協議の結果、今後は下記日程で同日に両会議を開

催することとなった。

事務局長会議: 毎月10日

理事会会議: 同上(事務局長会議の後に開催)

■ 積立金状況:

現在の積立金 3,010,300 CFA (2005年4月) ← 2,843,966 CFA (2004年12月)

■ 懸案事項:

今回の協議に出席していたCDの1人からプレジデントへの批判めいた発言があった。話の内容はASUFOR 移

行前の事であり、ASUFORの内部対立というほど深刻なものではないが以下参考に記す。

スペインの援助でルーラル・コミティが学校を建設したことがあったが、建設業者がBakhayaに

買いに来た際、現在のプレジデントが独断で無料にしてしまったらしく「個人が勝手にそうした決定をして

よいか」という発言から、当時の状況を説明しようとするプレジデント側と、これを問題視する側とに分か

れて住民間で言い争いとなった。Sumbから、ASUFOR以前の話を今更ジャッジはしないが、今後同様のケ

ースがあれば個人で判断することではなくASUFOR関係者の合意が必要であること、会議はファイトする場

ではなく、冷静に協議するよう伝えた。



ASUFOR事務局との協議 (2005/05/02)



従量制に関する住民同士の協議 (左がプレジデント)

Kara Voyndou

調査日：2005年5月5日 15:30
調査者：石井・翠川・DEM Niang・BPF Seye
開取：プレジデント(前)・会計・監査・オペレーター 他住民約10名
<p>■ 会合開催状況：</p> <p>後述するようにプレジデント選出のための住民集会を4月27日に開催していたが、事務局会議及び理事会とも定期開催されなかった。協議の結果、今後は下記日程で会議を開催することをASUFOR側も合意した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務局会議：毎月5日 (マナーケット等のある場合は翌日以降に延期) 理事会：毎月10日 (同上)



ASUFOR事務局との協議 (2005/05/05)

■ 積立金状況：
後述するように会計役が積立金の引継ぎを受けておらず、今回は確認できなかった。M.Seyeに後日確認して連絡するよう依頼した。

■ 懸案事項：
プレジデントの交代
プレジデントが交代していた。現在のプレジデントは3代目で、当初のプレジデントが2ヶ月前(2005年2月)にカメルーンへ出稼ぎで村を出たため、新たにプレジデントがノミネートされたが、このプレジデントが病気のため、村で会議(4月27日)を開き、現在のプレジデント(M.Tau)が選ばれたという。ASUFORはこうした経緯についてBPFには報告しておらず、BPF側も、(プロジェクト側ではKara VoyndouのモニタリングをBPFに依頼していたが)昨年12月末以降サイト訪問を行っていなかった。



ASUFOR事務局との協議 (2005/05/05)
左の背のタールパンの人物が新プレジデント

現在のプレジデントは、ASUFOR啓蒙普及時の住民総会(AG2)で従量制の移行について議論が勃発した際、議論を醸すような発言を行ったため、出席したスープリフェより住民総会からの退場を言渡された人物であった。現プレジデントが選出された4月27日の会議がどのようなものであったかは、議事録もなく、上記の説明以外は不明である。

新プレジデントをはじめとする今回出席したASUFOR役員及び住民からプロジェクト側への悪意は感じられなかったが、下記の会計状況等に関するプロジェクト側への説明等、どの程度正しく説明されているかどうか判断としない。

< 会計状況 >

当初のプレジデントが会計収支の記録を保管し、引継ぎの無いままにカメルーンへ出稼ぎで村を出たため、会計は積立金等の記録を持っておらず、会計が把握していたのは1月10日付口座ポジット(400,200CFA)と3月22日付口座ポジット(395,200CFA)だけであった。

< 今後の対策 >

現在、Kara Voyndouでは従量制を行わず、ASUFORも組織として機能していない。女性の参加も全くない模様である。今回のサイト現状調査では、各サイトの管轄BPFに懸念事項のフォローをするよう依頼しているが、Kara Voyndouについては特に5月10日開催予定の理事会へ出席するに少なくとも10日に1度訪問(5月に計3回)してモニタリングシートの記入や炊事場の準備状況などを報告すること、口座積立金状況についても早急に確認するよう依頼した。Kara Voyndouへの改善策については6月23日に開催予定の社内会議にて具体的なプログラムを協議し実施する。

Boke Dialoube

調査日：2005年5月5日 18:00
調査者：石井・翠川・DEM Niang・BPF Seye
開取：ASUFOR秘書・副会計・オペレーター
<p>■ 会合開催状況：</p> <p>事務局会議及び理事会とも月に1回開催している(前回は4月28日)。両会議とも毎月10日に定期開催。なお、4月28日の理事会には24人(女性6名)が出席。</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務局会議：毎月10日 (マナーケットのある場合は翌日以降に延期) 理事会：同上



ASUFORとの協議 (2005/05/05)

■ 積立金状況：
会計役が不在であったため、秘書の記録では3月の集金額は1,145,850 CFAであった。積立金の状況に付いては後日Seyeが再度サイトを訪問して確認する予定。

■ 懸案事項：
ASUFORからBPFへのモニタリングシート送付BPFについてはKara Voyndouから送付されるモニタリングシートの受領も助産してプロジェクトと検討し、BPFに連絡することとなった。また、家畜の数が把握しきれないため、家畜が水を飲んだまま支払いがされていないケースがあるとの報告があった。

Hamadi Ounaré

調査日：2005年5月6日 11:30
調査者：石井・翠川・DEM Niang
開取：プレジデント・会計・書記その他計16名(女性6名)
<p>■ 会合開催状況：</p> <p>会議は開催(4月の事務局会議は14日に、理事会会議を9日に開催)しているが、日程はフィックスしていない。協議の結果、今後は下記日程で同日に両会議を開催することとなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務局会議：毎月5日 理事会：毎月10日



ASUFORとの協議 (2005/05/06)

■ 積立金状況：
2005年2月時点での積立金は2,690,000 CFAで、3月分をまだ集集中。

■ 懸案事項：

< 水料金の改定 >

ASUFORは、住民総会を開催し水料金を400 CFAから200 CFAへ変更し、3月からこの料金で運営していた。この料金改定についてASUFORはBPFに連絡していなかった。プロジェクト側から料金改定にはASUFORの運営に関する十分な検討が必要であること、②料金改定など重要な協議や住民総会を開催する場合は事前にBPFへ相談すること、③施設の電化(下記参照)にもASUFOR側で支出が必要となるため、安易な料金引下げは望ましくなく、今後必ず事前に相談するとの表明があった。また、料金に改定してしまっただけが尚早であったことを了解し、今後は必ず事前に相談するとの表明があった。また、料金に関する再考と、適正な料金についてのBPF表のM.Thiarreと協議し、再度住民総会を開催することを約した。

■ 施設の電化
最近、ポンプ用燃料が入手できず(村に入荷せず、ガソリンスタンドにもなかったため)ポンプを停止せざるを得ない日が4日間続いた。こうしたことは認めないが、ポンプが約0.5~1kmの距離まで3時間稼働しているため、住民は給水施設の電化を希望している。DEM側による予算確保の可能性を、DEM本部に打診する(代わりのこと)であった。

Gombayel

調査日：2005年5月15日 10:30

調査者：石井・BPF Sall

開取：プレジデント・会計・書記・監査・オペレーター

■ 合会開催状況

会議は毎月開催しているが、但し4月の事務局会議はプレジデントが不在であったため開催していない。

➤ 事務局会議：毎月10日

➤ 理事会会議：毎月10日（事務局会議の後に開催）



ASUFOR との協議 (2005/05/15)

■ 積立金状況

2005年4月段階での積立金は1,446,310 CFA。順調に積み立てられているが銀行口座開設が遅れている。

■ 懸案事項

銀行口座が開設されていないことが、特に問題があったが、特に問題があったが、特に問題があった。ASUFORは口座開設の必要性は知りつつも手続きを延ばしていたようである。早急に口座開設をフォローするようBPF M.Sallに依頼した。

従量制による料金徴収は順調に行われているが、小学校からの水料金徴収が行われていないこと、アブルボアからの料金徴収が（家畜数が把握できないことから）容易でないとの説明があった。

Fass Ndimbelane

調査日：2005年5月16日 13:30

調査者：石井・BPF Sall

開取：プレジデント・会計・書記・住民数名

■ 合会開催状況

毎月定期的（1日）に事務局会議及び理事会を開催しており、プレジデントに上れば住民は専ら集まることである。

➤ 事務局会議：毎月1日

➤ 理事会会議：毎月1日



住民集会 (2004/07/15)

■ 積立金状況

2005年4月時点での積立金は1,019,605 CFA（4月の収入は324,550 CFA、支出は146,200 CFA）

ASUFOR 移行前の水管理委員会の資金管理が不透明であったことから、当初ASUFORに対して住民は懐疑的であったが、定期的な会議開催を通じて状況が改善されてきているようである。

■ 懸案事項

< 料金徴収 >

従量制の意義等について住民側にも浸透しつつあるようであるが、収支状況からアブルボアやボクタンクスからの料金徴収にまだ改善の余地があり、この点の指摘に対しASUFORも改善に意欲を見せていた。

< オペレーター >

オペレーターが不在であったため、アシスタントにモニタリングセンターの記載について説明した。BPF M.Sallに後日再度サイトを訪問しオペレーターを直接説明する機会を設けるよう依頼した。

Darou Ndimbelane

調査日：2005年5月16日 11:15

調査者：石井・BPF Sall

開取：プレジデント・会計・書記・監査・オペレーター

■ 合会開催状況

5月は4日に理事会会議（参加19名中女性6名）を、15日に事務局会議を開催しているが、日程がフィックスされておらず延期されがちであるため、下記日程での定期開催が合意された。

➤ 事務局会議：毎月5日

➤ 理事会会議：毎月5日



住民集会 (2004/07/11)

■ 積立金状況

3月にポンプ及びびジェネレーター修理にASUFORが支出したため、2005年4月末での積立金は415,000 CFA

■ 懸案事項

< 料金徴収 >

アブルボア（家畜水飲場）利用者からの料金徴収が徹底されず集金が滞っており、毎月の会計処理が遅れがらになっている。理事会会議等で支払いについて住民に働きかけるよう依頼するとともに料金徴収の徹底をASUFORに依頼した。

< オペレーター >

モニタリングセンターの記載についてはオペレーターが操業記録を記載できないため、協議の結果セクレタリーがサポートし、BPF Sallがこれを確認することとなった。オペレーターについては5月下旬より日次点検などを含む再訓練を行う予定である。

Darou Ndiawène

調査日：2005年5月17日 11:15

調査者：石井・BPF Sall

開取：プレジデント・会計・書記・監査・オペレーター

■ 合会開催状況

定期的な会議を開催しており、4月の事務局会議は4月30日に開催し、9名の事務局員（うち女性3名）は全員参加している。

理事会会議は4月12日に開催し、参加22名中女性参加は11名であった。会議日程をフィックスする利点を説明し、会議開催日は以下となった。

➤ 事務局会議：毎月5日

➤ 理事会会議：毎月5日



ASUFOR との協議 (2005/05/17)

■ 積立金状況

2005年4月時点での積立金は1,410,500 CFAで、この他会計が現在338,800 CFAを保管している。プレジデントをはじめ事務局役員は皆ASUFORの意義に理解を示し、JICAへ感謝の表明があった。

■ 懸案事項

< オペレーター >

現在のオペレーターは前任者が死亡し、1990年からその任に就いているが、オペレーターとしての正規研修を受けていない。ポンプ室内部も清掃整頓されており、日常の施設操業にも問題はなく、操業記録も本人が工未して記載しているが、モニタリングセンターの記載が難しい（仏文は読めるが記載はウエールのみ）ため、本人が慣れるまで他の事務局員及び学校教師がサポートすることとなった。

Diam Diam

調査日：2005年5月17日 15:15
調査者：石井・翠川・BPF Sall
関取り：プレジデント・会計・書記・オペレーター
<p>■ 会合開催状況：</p> <p>定期的に会議を開催しており、4月の事務局会議は4月30日に開催し、理事会会議は4月14日に開催した。理事会会議の参加29名中女性参加は13名であった。会議日程をフィックスする利点を説明し、会議開催日は以下となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事務局会議：毎月5日 ➢ 理事会会議：毎月5日



モニタリングシートに関する説明
(2005/05/05)

<p>■ 積立金状況：</p> <p>2005年4月時点での積立金は1,081,100 CFAで、4月の収入は496,965 CFA。各事務局員はそれぞれの役割を認識しASUFOR導入の意義も理解している。モニタリングシートの記載方法に対し疑問点など積極的な質問もあった。</p> <p>■ 懸念事項：</p> <p>昨日からボンブ等のメータが故障しており、BPF M.Sallに修理の可能性を確認し、ASUFORをサポートするよう依頼した。</p>

Sinthiou Malème

調査日：2005年5月18日 9:30
調査者：石井・翠川・BPF Sall
関取り：プレジデント・会計・書記・オペレーター・CDI名
<p>■ 会合開催状況：</p> <p>5月15日に事務局会議及び理事会会議を開催しているが、日程はフィックスしていなかった。協議の結果、今後は下記日程で同会議を開催することとなった。モニタリングシートのBPF送付は毎月9日となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事務局会議：毎月8日 ➢ 理事会会議：毎月8日



ASUFORとの協議 (2005/05/18)

<p>■ 積立金状況：</p> <p>積立金は231,500 CFA。キャッシュデスタクは500CFA以下。</p> <p>■ 懸念事項：</p> <p><住民の理解></p> <p>事務局はASUFOR運営に努力しているようであるが住民側の協力が得られず苦慮している。内部規定に反した各戸給水栓(400→150CFA/m3)や菜園用水料金(200→50CFA/m3)の設定が行われ、水死人が勝手な行為(600CFA/m3で水を死つてASUFORに納めるのは200CFA/m3)行っている。その背景には、中心村落周辺村落間の問題(プレジデントは周辺村落出身)、やエスニックグループの問題、今回表面化していない問題も想像される。いくつかの要因が複雑に絡み合っており、ASUFOR事務局員だけでは解決しがたい状況になっている。事務局やBPFは「住民のメンタリティー」を一番の問題点として挙げている。BPF M.Sallに管理員会(PCR)スロープ(BPF)で早急に対応に付いていいて協議を行うよう依頼した。</p> <p><施設関連></p> <p>高圧水栓や配管(ネットワーク)の漏水、メータボックスカバーの未設置などの報告があった。DEMにその確認と、フォロワーを依頼した。</p>

Dialakoto

調査日：2005年5月18日 15:30
調査者：石井・翠川・BPF Sall
関取り：プレジデント・会計・書記・オペレーター
<p>■ 会合開催状況：</p> <p>事務局会議は毎月6日までにしている。理事会会議は2ヶ月に1回の開催となっていた。協議の結果、今後は下記日程で同日に同会議を開催することとなった。モニタリングシートのBPF送付は毎月12日となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事務局会議：毎月10日 ➢ 理事会会議：毎月10日



ASUFORとの協議 (2005/05/18)

<p>■ 積立金状況：</p> <p>現在の積立金は50,000 CFAで、キャッシュデスタク30,000CFA。</p> <p>■ 懸念事項：</p> <p>Dialakotoでは各戸に代井戸を持っているケースが多く、水料金との兼ね合いで公共水栓の使用を軌道する傾向にあり、ASUFOR事務局はそれなりに活動しているものの積立金が非常に少ないのはその影響と考えられる。現在 Dialakoto に各戸給水栓がないが、住民には各戸給水に対する要望が強く、既にタンクスターBPFへ30ほどのアプリアケーションが提出されていることから、各戸給水栓を推奨し、水料金徴収につなげる方法についてBPF M.Sallから提案された。理事会合にBPFも出席し、住民に対し各戸給水栓設置に関する説明についてアプリアポア使用者の水料金支払い延滞が問題として挙げられ、事務局員による啓蒙の必要性が提案された。</p>
--

Diagle Sine

調査日：2005年5月26日 10:30
調査者：石井・DEM Niang・BPF Sall
関取り：プレジデント・会計・書記・監査・オペレーター
<p>■ 会合開催状況：</p> <p>2004年9月のASUFOR開始より会合を開催している。モニタリングシートの送付についてはASUFORからBPFへ毎月10日に送付することとなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事務局会議：毎月2日 ➢ 理事会会議：毎月3日



ASUFORとの協議 (2005/05/26)

<p>■ 積立金状況：</p> <p>積立金1,600,000 CFAで、キャッシュデスタク200,000CFA。乾期における毎月の利益は約200,000CFA。</p> <p>■ 懸念事項：</p> <p>会合は定期的に開催されており、積立金も順調に行われているようである。現在のところASUFORに特になき問題は表面化していない。</p> <p><貯水槽の漏水></p> <p>水槽に軽微な漏水が認められるため、早期補修をサポートするようBPF M.Sallに依頼した。</p>

Mérito Dialoubé

調査日：2005年5月26日 17:16
調査者：石井・DEM Niang・BPF Sall
開取り：プレジデント・副プレジデント・会計・書記・オベレータ
<p>■ 会合開催状況：</p> <p>事務局長会議、理事会会議に実施されているが、下記のように定例会合を行うことが合意された。モニタリングシートのBPP送付は毎月20日となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事務局会議：毎月10日 ➢ 理事会会議：毎月15日

<p>■ 積立金状況：</p> <p>現在の積立金は4,406,292 CFAで、このうち2,241,292CFAは旧委員会から受け継いだものである。この他にキャッシュデスクに401,000CFA保管されている。4月の収入は923,650CFA、支出は411,125CFAであった。</p>
<p>■ 懸案事項：</p> <p>ASUFORの正式スタートは2005年1月からであるがASUFORの会計役は詳細な出納記録をつけており、28ある各戸給水からも料金徴収は適正に行っているとのことである。</p> <p><オベレータ></p> <p>オベレータは採用時にルガでの研修を受けていなかった。機室内が整理整頓されておらず、日常業務として行われる清掃など不十分であったためBPPよりオベレータへ指導を行った。</p> <p><配管延長></p> <p>プレジデントより新たに岡辺村落への配管延長したいとの希望が伝えられた。BPPと別途教養を行う予定。</p>

Keur Daouda

調査日：2005年5月27日 11:00
調査者：石井・DEM Niang・BPF Sall
開取り：プレジデント・会計・書記代理・オベレータ
<p>■ 会合開催状況：</p> <p>会議は定期開催(下記)を行っている。モニタリングシートのBPP送付は毎月20日となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事務局会議：毎月5日 ➢ 理事会会議：毎月15日

<p>■ 積立金状況：</p> <p>現在の積立金は1,300,000 CFAで、キャッシュデスクに23,695CFA保管されている。</p>
<p>■ 懸案事項：</p> <p><水料金の改定></p> <p>ASUFORの書記が後制を果たしていない(本人が多忙のため辞意を表明しているとのこと)ため、現在代理が書記を勤めている。BPF M.Sallより次回会合で正式に選出するよう指示した。</p> <p><事務局メンバーへの報酬></p> <p>事務局メンバーの仕事は多忙であるため、サラリー支給の可能性を問われた。事務局員への報酬は内部規定に基づき住民総意で決定されるのが原則であること、ASUFOR 事務局員はボランティアが望ましいことを伝えられた。</p>

Darou Salam II Sine

調査日：2005年5月27日 13:50
調査者：石井・DEM Niang・BPF Sall
開取り：プレジデント・会計・副会計・書記・監査・CDD 名他
<p>■ 会合開催状況：</p> <p>前回の事務局会議は4月15日に開催、理事会会議を6月3日に開催しているが、ASUFOR 開始(3月15日)以来、理事会会議開催は1回のみである。協議の結果、モニタリングシートのBPP送付は毎月10日となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事務局会議：毎月15日 ➢ 理事会会議：毎月5日

<p>■ 積立金状況：</p> <p>現在の積立金は1,197,4700 CFAで、このうち932,000CFAは旧水管理委員会からトランスファーされたものである。キャッシュデスクに約100,000CFA保管されている。4月の銀行デポジットは265,110CFA。</p>
<p>■ 懸案事項：</p> <p><ASUFOR 開始の遅れ></p> <p>ASUFOR 開始は2005年1月であったが、正式スタートは3月15日からとなった。その理由はASUFOR 開始予定の1月になって住民から各戸給水の申し込みが続き、その費用集金とメータ設置工事とが3月まで続いたため、ASUFOR 開始が遅れたとのことであった。5月3日の理事会会議出席者数は理事24名のうち16名であった。</p> <p><菜園用水料金></p> <p>内部規定では菜園用水料金は300CFA/m3と決められたが、各戸給水の利用者が、各戸給水400CFA/m3)がこれを許さず、菜園グループは400CFA/m3を支払っている。理事会会議で再度協議するよう住民に伝えBPF M.Sallにフォローを依頼した。</p>

Dawadi

調査日：2005年5月28日 10:30
調査者：石井・DEM Niang・BPF Sall
開取り：プレジデント・会計・書記・オベレータ・その他約13名
<p>■ 会合開催状況：</p> <p>会合開催状況ともに開催しているが、ASUFOR 開始(1月10日)以来、理事会会議開催は1回のみである。協議の結果、2種の会議は下記のように定期開催とし、モニタリングシートのBPP送付は毎月20日となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事務局会議：毎月5日 ➢ 理事会会議：毎月10日

<p>■ 積立金状況：</p> <p>現在の積立金は550,000 CFAで、キャッシュデスクに67,975CFA保管されている。</p> <p>2005年2月の収入は204,245CFA、支出は44,400CFAで銀行のデポジットは約159,000CFAとのことであるが、3月、4月の収支記録が整理されておらず曖昧になっていた。</p>
<p>■ 懸案事項：</p> <p><ASUFOR></p> <p>プレジデントをはじめとした ASUFOR 事務局員は、旧水管理委員会のマネジメント(施設ごとに担当者が会合を開催していた)を継いでいたらしく、収入・支出の管理がASUFOR 会費徴収・適正に引き継がれていなかったようである。BPF M.Sallより、事務局員の役割と会計管理について再度説明を行い、旧水管理委員会のマネジメントを改めることが合意された。</p>